

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	高齢者医療運営円滑化等補助金			担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高齢者医療課 保険課 国民健康保険課	泉 潤一 宮本 直樹 榎本 健太郎			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者の医療の確保に関する法律第102条			関係する計画、通知等	平成29年度高齢者医療運営円滑化等補助金交付要綱「平成29年度高齢者医療運営円滑化等事業費の国庫補助について」(平成29年3月27日厚生労働省発保0327第7号)				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢者医療制度の基盤の安定化を図るため、被用者保険の保険者の後期高齢者支援金等の負担を緩和するための助成及び特定保健指導等の実施に対する助成を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①高齢者支援金等負担金助成事業／保険者の高齢者医療支援金等の負担に対し行う助成事業(補助率:毎年度設定) 後期高齢者支援金等の拠出金負担が重い被用者保険の保険者(健保組合・共済組合)に対する助成事業 ②高齢者支援金等負担金助成事業／指定組合の保険給付等に要する費用に対して行う助成事業(補助率:毎年度設定) ③高齢者支援金等負担金助成事業／短時間労働者の適用拡大の影響により財政が逼迫する健康保険組合に対する財政支援事業(補助率:毎年度設定) ④被用者保険運営円滑化推進事業／共同助成事業(補助率:定額) 健康保険組合連合会等が保険者と共同して行う事業(保健師等による特定保健指導等推進に資する事業)に対する助成事業 ⑤被用者保険運営円滑化推進事業／レセプト・健診情報等を活用したデータヘルス推進事業(補助率:定額) 健康保険組合等におけるデータヘルス計画の作成や事業の立ち上げ等を支援する事業 ⑥高齢者医療支援金等負担金助成事業／高齢者医療制度関係業務システム改修事業／平成27年度からの繰越分(補助率:定額) 社会保険診療報酬支払基金における被用者保険対象者拡大に対するシステム改修を支援する事業 ⑦高齢者医療支援金等負担金助成事業／退職者医療制度関係業務システム改修事業／平成27年度からの繰越分(補助率:定額) 社会保険診療報酬支払基金における被用者保険対象者拡大に対するシステム改修を支援する事業								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	27,265	31,484	38,606	74,671	75,023		
		前年度から繰越し	379	168	-	-			
		翌年度へ繰越し	1,988	375	168	-			
		予備費等	▲ 375	▲ 168	-	-			
		計	-	-	-	-			
	執行額	29,257	31,859	38,774	74,671	75,023			
	執行率(%)	29,257	31,854	37,466					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	97%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	高齢者医療運営円滑化等補助金	74,671	75,023	「新しい日本のための優先課題推進枠」850					
	計	74,671	75,023						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	①拠出金負担が重い保険者に対して助成を行い、高齢者医療制度の基盤の安定化を図る。	①助成金を交付した保険者数	成果実績	団体	319	529	697	-	-
			目標値	団体	319	529	697	-	-
			達成度	%	100	100	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定保険者一覧								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
②保険財政基盤が脆弱な健康保険組合に対して助成を行い、健康保険組合の解散防止を図ることを目的とする。	②助成金を交付した保険者数	成果実績	団体	-	5	1	-	-	-	-
		目標値	団体	-	5	1	-	-	-	-
		達成度	%	-	100	100	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定保険者一覧									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
③年金機能強化法に規定する短時間労働者の適用拡大の影響により財政が逼迫する健康保険組合に対して財政支援を行い、健康保険組合の解散防止を図ることを目的とする。	③助成金を交付した保険者数	成果実績	団体	-	-	14	-	-	-	-
		目標値	団体	-	-	14	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	100	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定保険者一覧									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
④健康保険組合連合が保険者と共同して行う事業(保健師等による特定保健指導等推進に資する事業)に対して補助を行い、特定保健指導の実施率の向上を図る。	④助成金を交付した団体数	成果実績	団体	2	2	1	-	-	-	-
		目標値	団体	2	2	1	-	-	-	-
		達成度	%	100	100	100	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定保険者一覧									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	29	年度
⑤健康保険組合等が効率的かつ効果的な事業が導入及びパッケージ化、人材育成等を支援し、データヘルスの更なる推進を図る。	⑤助成金を交付した団体数	成果実績	団体	25	79	39	-	-	-	-
		目標値	団体	25	79	39	-	-	-	-
		達成度	%	100	100	100	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定保険者一覧									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
①高齢者支援金等負担金助成事業(保険者の高齢者医療支援金等の負担に対し行う助成事業)	活動実績	百万円	26,514	30,340	36,254	-				
	当初見込み	百万円	26,514	30,049	36,254	71,254				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
②高齢者支援金等負担金助成事業(指定組合の保険給付等に要する費用に対して行う助成事業)	活動実績	百万円	-	501	10	-				
	当初見込み	百万円	-	791	791	791				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
③高齢者支援金等負担金助成事業(短時間労働者の適用拡大の影響により財政が逼迫する健康保険組合に対する財政支援事業)	活動実績	百万円	-	-	576	-				
	当初見込み	百万円	-	-	1,101	1,832				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
④被用者保険運営円滑化推進事業(共同助成事業)事業の実績額及び補助金の交付額	活動実績	百万円	396	355	197	-				
	当初見込み	百万円	396	355	197	316				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
⑤被用者保険運営円滑化推進事業(レセプト・健診情報等を活用したデータヘルス推進事業)事業の実績額及び補助金の交付額	活動実績	百万円	355	283	261	-				
	当初見込み	百万円	355	288	263	478				

		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
単位当たりコスト	①高齢者支援金等負担金助成事業(保険者の高齢者医療支援金等の負担に対し行う助成事業) X:「健康保険組合等への助成金額(百万円)」/Y:「助成団体数」	単位当たりコスト		百万円	83	57	52	-				
		計算式	X/Y		26,514/319	30,340/529	36,254/697	-				
		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
単位当たりコスト	②高齢者支援金等負担金助成事業(指定組合の保険給付等に要する費用に対して行う助成事業) X:「健康保険組合等への助成金額(百万円)」/Y:「助成団体数」	単位当たりコスト		百万円	-	100	10	-				
		計算式	X/Y		-	501/5	10/1	-				
		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
単位当たりコスト	③高齢者支援金等負担金助成事業(短時間労働者の適用拡大の影響により財政が逼迫する健康保険組合に対する財政支援事業) X:「健康保険組合等への助成金額(百万円)」/Y:「助成団体数」	単位当たりコスト		百万円	-	-	41	-				
		計算式	X/Y		-	-	576/14	-				
		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
単位当たりコスト	④被用者保険運営円滑化推進事業(共同助成事業) X:「健康保険組合等への助成金額(百万円)」/Y:「助成団体数」	単位当たりコスト		百万円	198	355	197	-				
		計算式	X/Y		396/2	355/1	197/1	-				
		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
単位当たりコスト	⑤被用者保険運営円滑化推進事業(データヘルス推進事業) X:「健康保険組合等への助成金額(百万円)」/Y:「助成団体数」	単位当たりコスト		百万円	15	4	7	-				
		計算式	X/Y		355/25	283/79	261/39	-				
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること									
		施策	施策目標 I-9-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
		高齢者医療制度の基盤の安定化を図るため、被用者保険の保険者の後期高齢者医療支援金等の負担緩和及び特定保健指導の実施に対する助成を行う。もって保険者への国庫補助を通じて医療保険の安定的運営に寄与している。										
		改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
目標値	-		-	-	-	-	-					
達成度	%		-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度				
	成果実績	-	-	-	-	-	-					
	目標値	-	-	-	-	-	-					
	達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	後期高齢者支援金により高齢者医療を支える被用者保険者の支援金負担を軽減することは、高齢者医療制度の安定的な運営に資するものである。 なお、平成22年、平成25年、平成27年の医療保険制度改革法案の付帯決議において、当事業の継続等が求められている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	平成21年度は、社会保険診療報酬支払基金を通じた間接補助を行っていたが、平成22年度から国が直接執行することとし、同基金への事務諸費(45百万円)を削減した。交付時期についても早期執行を実施している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	拠出金負担が重い健保組合等に対して一定の負担軽減を行うことにより、保険料の上昇抑制、ひいては健保組合自体の解散が防止される重要性の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	各健康保険組合等の報酬総額に占める拠出金の割合等の詳細なデータを基に厳格に助成基準を定め交付先・交付額を決定している。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	保険者の拠出金の負担割合に応じた交付額としている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実績報告書で確認している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	いずれの事業も毎年度、事業対象に助成を行っており、目標どおりの実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	平成21年度は、社会保険診療報酬支払基金を通じた間接補助を行っていたが、平成22年度から国が直接執行することとし、同基金への事務諸費(45百万円)を削減。交付時期についても早期執行を実施しており、コストと効率については十分考慮している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	毎年度見込みどおりの実績である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	事業実績報告書等で確認している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名 (選択してください)	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		高齢者医療制度は、現役世代である健保組合等による拠出金負担によって支えられており、主に加入者数に応じて拠出金が算定される仕組みである。 平成22年度より事務経費の削減のために、交付事務を委託から国の直接事務に移管したことに加え、補助対象を運営に困難をきたしている保険者に限定している。また、予算執行についても申請手続きの早期勧奨を実施し、早期執行を行っている。 当事業は、拠出金負担が重い健保組合等や短時間労働者の適用拡大により財政が逼迫する恐れのある健保組合に対して一定の負担軽減を行うことにより、保険料の上昇抑制、ひいては健保組合自体の解散が防止される重要性の高い事業であるため、医療保険制度改革法の付帯決議においても、当事業の継続が求められている。 被用者保険運営円滑化推進事業のうち、共同助成事業については、高齢期における健康の保持を図るため、法令の規定により、健保組合等の保険者は、加入者に対して特定保健指導等の実施を行うものとされているが、財政状況等の理由により特定保健指導等の実施が困難な健保組合に限定し、健保連が実施する支援事業に係る費用の一部のみを助成しており、効率的かつ適切に執行されている。 また、データヘルス推進事業については、中・小規模の保険者にも等しく効率的かつ効果的な事業が導入できるよう初期費用の補助や先進的なデータヘルス事業のパッケージ化、また、データヘルス事業の導入・運営のための人材育成や環境整備等を行うため、健康保険組合や協会けんぽに補助することは、データヘルスの更なる推進に向けて、効率的かつ適切に執行されている。 レセプト等データ収集システム機器更替事業については、平成21年度に構築したレセプト情報等を匿名化・暗号化するための収集提供システムを機器更替することにより、医療費適正化計画の作成等のための調査及び分析等が効率的に行えるための体制を整備し、もって高齢者医療制度の円滑な運営に資することを目的とした事業であり、効率的かつ適切に執行されている。
	改善の方向性		高齢者支援金等負担金助成事業については、健保組合等の財政状況を踏まえ助成基準を毎年度設定し、拠出金負担が重い健保組合に対して重点的に助成している。医療保険制度の動向を踏まえて、事業のあり方を検討していく。
外部有識者の所見			
点検対象外			

行政事業レビュー推進チームの所見

現  
状  
通  
り

改善の方向性で述べているとおり、高齢者支援金等負担金助成事業については健康保険組合の財政状況を踏まえて事業のあり方を検討しつつ、引き続き適切な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現  
状  
通  
り

今後も適切な事業執行に努めることとする。

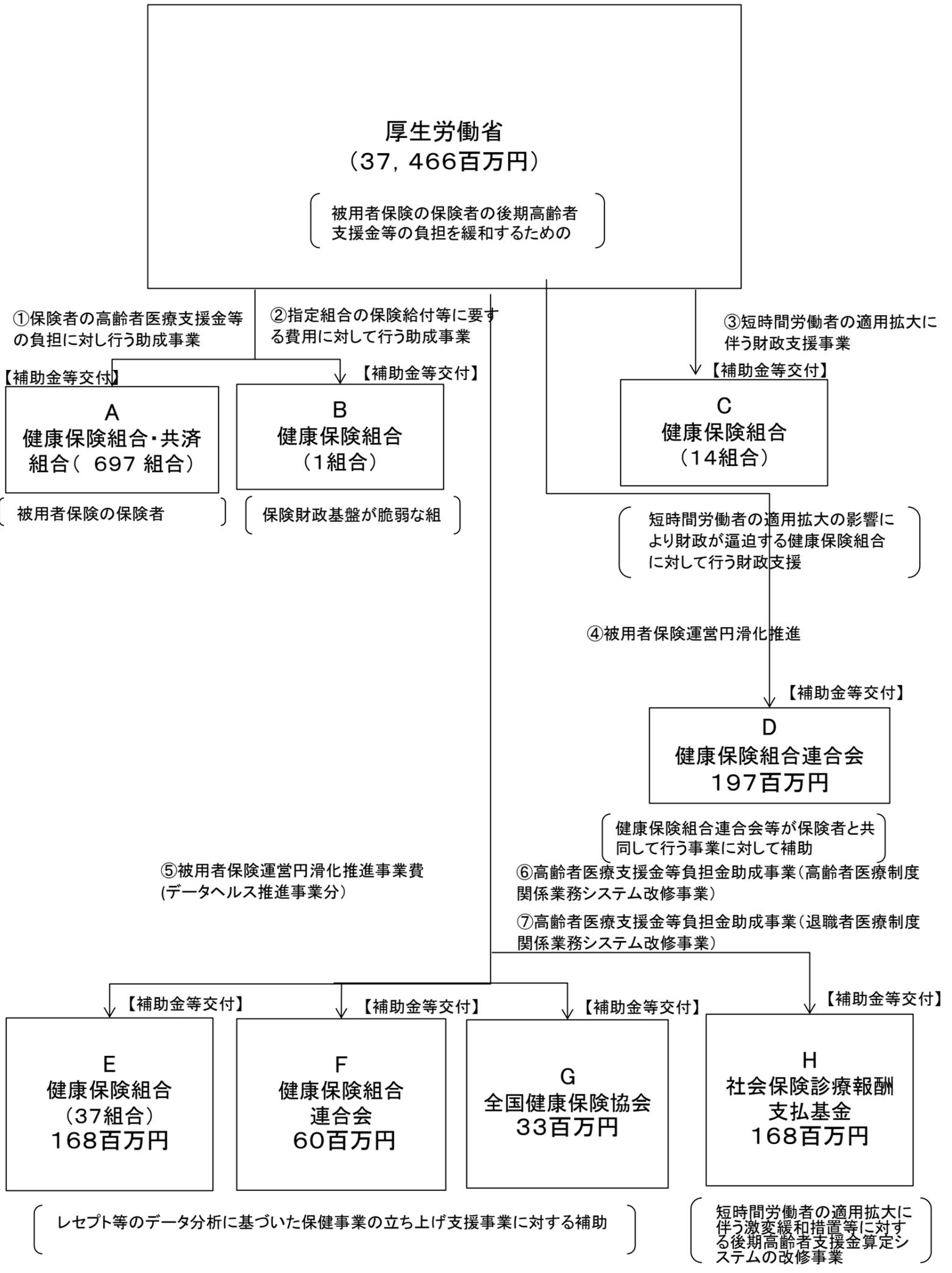
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	250	平成23年度	222	平成24年度	189
平成25年度	222	平成26年度	235	平成27年度	245
平成28年度	241				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位: 百万円)



<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.A-a健康保険組合			B.B-a健康保険組合		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	納付金	後期高齢者支援金等	3,126	法定給付費	保険給付費の不足分に充てる	10
	計		3,126	計		10
	C.C-a健康保険組合			D.健康保険組合連合会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	法定給付費	保険給付費の不足分に充てる	159	人件費	保健師等による特定保健指導等推進に資する保健福祉事業	197
	計		159	計		197
	E.E-a健康保険組合			F.健康保険組合連合会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	委託費	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス推進事業	22	委託費	データヘルス普及啓発指導事業	60
	計		22	計		60
	G.全国健康保険協会			H.社会保険診療報酬支払基金		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	委託費	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス推進事業	33	委託費	みずほ情報総研(株)短時間労働者への適用拡大に伴うシステムの更改に係る基本検討、基本設計、詳細設計、操作手順の製造 平成29年度制度改正に伴うシステムの更改に係る基本検討、基本設計、詳細設計、操作手順の製造	168
	計		33	計		168

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	A-a健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	3,126	補助金等交付	-	-	
2	A-b健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	2,586	補助金等交付	-	-	
3	A-c健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	2,125	補助金等交付	-	-	
4	A-d健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	1,164	補助金等交付	-	-	
5	A-e健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	945	補助金等交付	-	-	
6	A-f健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	710	補助金等交付	-	-	
7	A-g健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	665	補助金等交付	-	-	
8	A-h健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	627	補助金等交付	-	-	
9	A-i健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	613	補助金等交付	-	-	
10	A-j健康保険組合	-	後期高齢者医療支援金等の負担	591	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	B-a健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	10	補助金等交付	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	C-a健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	159	補助金等交付	-	-	
2	C-b健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	86	補助金等交付	-	-	
3	C-c健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	83	補助金等交付	-	-	
4	C-d健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	59	補助金等交付	-	-	
5	C-e健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	54	補助金等交付	-	-	
6	C-f健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	32	補助金等交付	-	-	
7	C-g健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	31	補助金等交付	-	-	
8	C-h健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	21	補助金等交付	-	-	
9	C-i健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	19	補助金等交付	-	-	
10	C-j健康保険組合	-	健康保険事業(保険給付等)	16	補助金等交付	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	健康保険組合連合会	5700150006052	保険者と共同して行う事業(保健師等による特定保健指導等推進に資する事業)に対して補助	197	補助金等交付	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	E-a健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	22	補助金等交付	-	-	
2	E-b健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	13	補助金等交付	-	-	
3	E-c健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	8	補助金等交付	-	-	
4	E-d健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	7	補助金等交付	-	-	
5	E-e健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	7	補助金等交付	-	-	
6	E-f健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	6	補助金等交付	-	-	
7	E-g健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	5	補助金等交付	-	-	
8	E-h健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	5	補助金等交付	-	-	
9	E-i健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	5	補助金等交付	-	-	
10	E-j健康保険組合	-	レセプト・検診情報等を活用したデータヘルス事業の推進に対する補助	5	補助金等交付	-	-	



成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 28年度
	⑥社会保険診療報酬支払 基金に対して短時間労働者 の適用拡大に伴う激変緩和 措置等に対する後期高齢者 支援金算定システムの改修 に必要な経費について助成 する。(平成28年度事業終 了)	⑥助成金を交付した団体数	成果実績	団体	-	-	1	-	1
目標値			団体	-	-	1	-	1	
達成度			%	-	-	100	-	100	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定団体一覧								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 28年度
	⑦社会保険診療報酬支払 基金に対して短時間労働者 の適用拡大に伴う激変緩和 措置等に対する退職者医療 制度関係業務システムの改 修に必要な経費について助 成する。(平成28年度事業 終了)	⑦助成金を交付した団体数	成果実績	件	-	-	1	-	1
目標値			件	-	-	1	-	1	
達成度			%	-	-	100	-	100	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	部局が保管している交付決定団体一覧								